

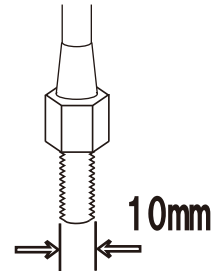
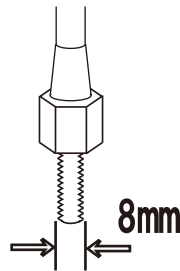
# NAPOLEON

## 1. ミラー交換のまえに知っておきましょう

3つのポイント💡

### ①ネジ径（太さ）

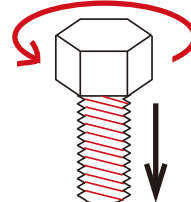
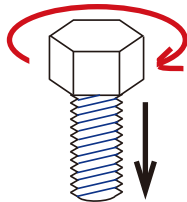
主に国産車は8mmと10mmの二種類です。



### ②正ネジと逆ネジ

右に回して締まるネジが正ネジ

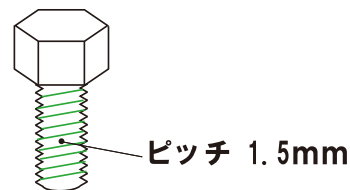
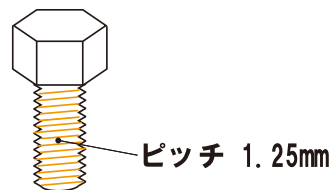
左に回して締まるネジが逆ネジ



逆ネジはミラーが受けた衝撃を取付部が緩むことにより緩和できるため、一部の車種で採用されています

### ③ネジピッチ

ネジピッチとは一回転させた時のネジの移動量です。ネジピッチ1.25mmといえは一回転で1.25mm移動します。



主に1.25mmと1.5mmピッチがありますが国産車の大半は1.25mmピッチです。

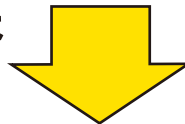
## 2. ミラーアダプター

### ミラーが車両に合わないのはなぜ？

- ・ 車両側の取付穴が小さい、または大きい。  
→ネジ径（10mm、8mm）が違っている。
- ・ 手で回しても車両側の取付穴に入らない。  
→締め付け方向（正ネジ、逆ネジ）が違っている。左回転に回してお試しください。  
→右回転、左回転でもネジが入らない場合は逆ネジの取付穴に正ネジを入れている、あるいはその逆が考えられます。  
→ネジのピッチが違っている。



そんなときは



### 1) ナポレオンミラーアダプター

ナポレオンではネジ径や締め付け方向を変換する様々なバリエーションのミラーアダプターをラインナップしております。  
（ラインナップは5ページを参照）



### 2) ナポレオンターナー

ターナーとはある一定以上の力が加わったときに回転する機構をもったアダプターで、ミラーが受けた衝撃を緩和させる安全機構です。（ラインナップは6ページを参照）



### 3) 高さ調整スペーサー

車種によってはブレーキマスターシリンダーなどの部品にミラーが干渉したり、スクーターのように外装部品内にミラー取付部分がある車両はスペーサーを使用して高さを調整してください。



写真：HONDA D10 FI

カウルの奥にミラー取付部がある。

### 4) 純正ミラーアダプター

新車時からすでにミラーアダプターが装着されている場合があります。（8ページ参照）



写真：YAMAHA '08 WR250X

ネジ方向を変換するアダプターが装着されています。

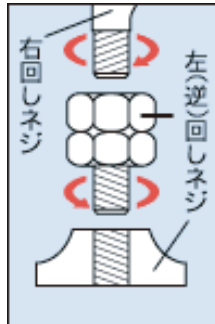
（8ページのFタイプ）

### 3. ナポレオンミラーアダプターラインナップ



#### ① 逆ネジアダプター

車両側が逆ネジでミラーが正ネジの場合に使用します。

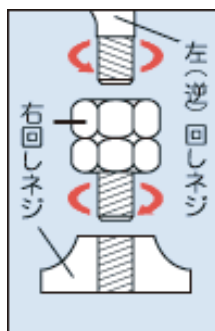


- ・ H-8    ブラック
- ・ HM-8   クロームメッキ
- } ミラー側 8mm正 → 車両側 8mm逆
- ・ H-10   ブラック
- ・ HM-10   クロームメッキ
- } ミラー側 10mm正 → 車両側 10mm逆

ミラーの高さが約20mm高くなります。  
(逆ネジアダプター1個、高さを合わせるためのスペーサー1個入り)

#### ② 正ネジアダプター

車両側が正ネジでミラーが逆ネジの場合に使用します。

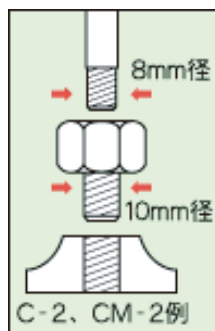


- ・ SH-8    ブラック
- ・ SHM-8   クロームメッキ
- } ミラー側 8mm逆 → 車両側 8mm正
- ・ SH-10   ブラック
- ・ SHM-10   クロームメッキ
- } ミラー側 10mm逆 → 車両側 10mm正

ミラーの高さが約20mm高くなります。  
(正ネジアダプター1個、高さを合わせるためのスペーサー1個入り)

#### ③ ネジ径変換アダプター

車両側のネジ径とミラーのネジ径が異なる場合に使用します。



- ・ C-1    ブラック
- ・ CM-1   クロームメッキ
- } ミラー側 10mm正 → 車両側 8mm正
- ・ C-2    ブラック
- ・ CM-2   クロームメッキ
- } ミラー側 8mm正 → 車両側 10mm正
- ・ C-3    ブラック
- ・ CM-3   クロームメッキ
- } ミラー側 10mm正 → 車両側 8mm逆
- ・ C-4    ブラック
- ・ CM-4   クロームメッキ
- } ミラー側 8mm正 → 車両側 10mm逆

ミラーの高さが約20mm高くなります。  
(ネジ径変換アダプター1個、高さを合わせるためのスペーサー1個入り)

#### ④ストレートターナ

衝撃を緩和させるターナー機構を持ったアダプターです。



ブラック

T-1	ミラー側 10mm正	→	車両側 10mm正
T-3	ミラー側 8mm正	→	車両側 8mm正
T-5	ミラー側 10mm正	→	車両側 8mm正
T-7	ミラー側 8mm正	→	車両側 8mm逆
T-9	ミラー側 10mm正	→	車両側 8mm逆
T-11	ミラー側 10mm正	→	車両側 10mm逆

(2個入り)



クロームメッキ

T-2	ミラー側 10mm正	→	車両側 10mm正
T-4	ミラー側 8mm正	→	車両側 8mm正
T-6	ミラー側 10mm正	→	車両側 8mm正
T-8	ミラー側 8mm正	→	車両側 8mm逆
T-10	ミラー側 10mm正	→	車両側 8mm逆
T-12	ミラー側 10mm正	→	車両側 10mm逆

(2個入り)

ミラーの高さが約42mm高くなります。

◇ナポレオンではターナー機構をミラー本体に内蔵している製品もございます。

ターナー機構が  
内蔵されています



クロス2ミラー



クロス2オプティクス



クロス3ミラー



ネイキッドミラー



ナポレオン  
スティングレイミラー



ブレードステアミラー



リュートミラー

## ⑤ミラー用高さ調整スペーサー

ミラーの高さを約20mm高くするスペーサーです。  
ミラー側10mm正→車体側10mm正



B-10 ブラック  
(2個入り)



BM-10 クロームメッキ  
(2個入り)

## ⑥ハーレー用ミラーアダプター



G-1  
(2個入り)

ハーレーに汎用ミラーを取り付けるためのアダプターです。  
純正ウインカーをそのまま使用できます。  
10mm正ネジの汎用ミラー専用。  
ミラーの高さが約30mm高くなります。

## ⑦BMW用ミラーアダプター



G-2  
(2個入り)

ミラーがハンドルマウントのBMW車両に、汎用ミラーを取り付けるためのアダプターです。

10mm正ネジの汎用ミラー専用。  
ターナー機構を装備。  
ミラーの高さが約42mm高くなります。

R1200GS※、K1200R、K1200Rsport、R1200R、HP2エンデューロ  
HP2メガモト、08' F650GS (800cc) に適合。

※純正ミラーアダプターが装着されている場合は、取り外してG-2アダプターを取付けてください。



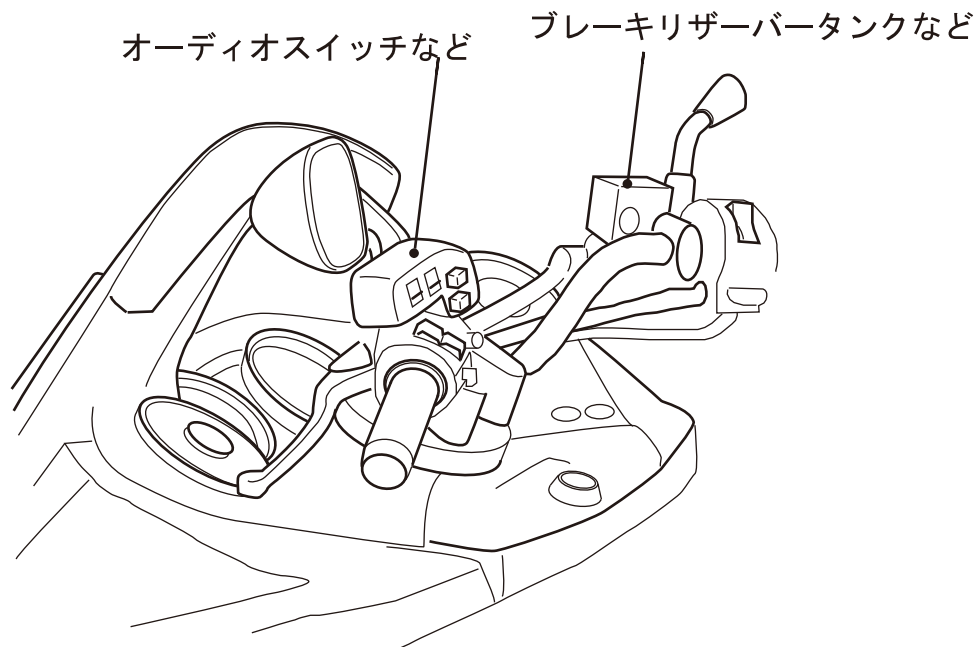
## 4. 各種注意事項

### 1) 部品への接触について

バレンクラシック/バレンT. T. /バレンA. A. /リュートミラー/ナポレオンモターズミラーなど、取り付け部が前方に伸びているミラーを取り付けする場合は、ブレーキのリザーバータンク等に接触する場合があります。

この場合はミラー高さ調整スペーサーやストレートターナー等を使用して上方に移動してください。

またオーディオコントローラーやグリップヒーターのスイッチなども同様に接触する場合があります。場合によってはミラー高さ調整スペーサーでは接触を回避できない事もありますのでご注意ください。



### 2) 取付穴が奥まっている

取付穴が車体カバーに覆われて奥にあるため、ミラーのロックナットが締められない場合があります。また純正アダプターの有無の確認も困難なのでネジ径、締め付け方向（正、逆ネジ）を間違えないよう注意が必要です。





## 4. 各種注意事項

### 3) 純正ミラーアダプター

純正ミラーアダプターが装着されている車両については、ミラー交換時に純正ミラーアダプターをそのまま装着して使用するか、外して直接ミラーを装着するかで選択するミラーのネジ径や締め付け方向（正、逆ネジ）が異なります。

多くの純正ミラーアダプターはミラーが受けた衝撃を吸収させる目的で取り付けられています。これは規定の締め付けトルクで取り付けられている場合であり、ミラーを交換した際に締め付けトルクが適正でないと衝撃を吸収することができない場合があります。（強く締めると衝撃を受けても緩まない）

ナポレオンターナーは締め付けトルクがある程度正確でなくても、衝撃吸収機構が作用する構造となっております。

また純正ミラーアダプターは純正ミラーのブーツで覆われる前提であるため未塗装のものが多くあります。装着時の見た目も考慮し、ミラーアダプターの選択および、それに準じたミラーの選択をお間違いないようご注意ください。



純正ミラーアダプターを使うか使わないかで選ぶミラーが変わってきます。

### 4) 純正ミラーの取り外し

ミラー取付部が逆ネジの車両、および前述の純正ミラーアダプターが装着されている車両は純正ミラー取り外しの際に緩める方向を間違えないように十分ご注意ください。



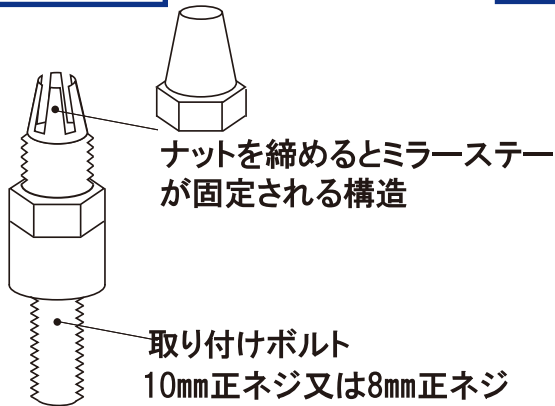


## 4. 各種注意事項

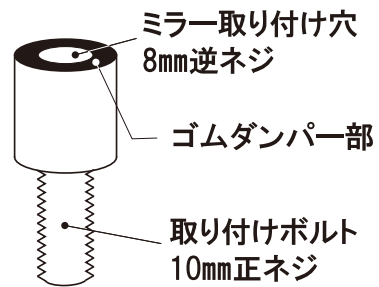
### 5) 代表的な純正ミラーアダプター

ミラーが受けた衝撃を吸収する目的で、新車時から既にミラーアダプターが装着されている車両があります。代表的な純正ミラーアダプターを下記にご紹介します。

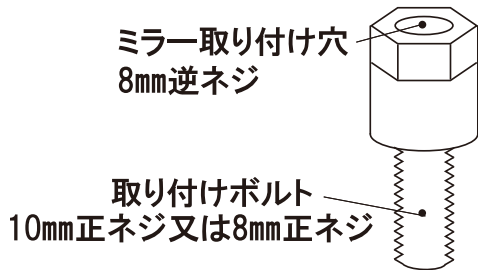
#### A タイプ



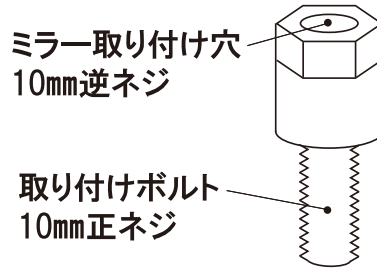
#### B タイプ



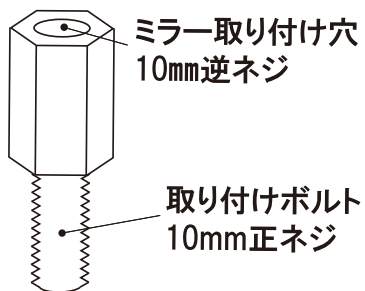
#### C タイプ



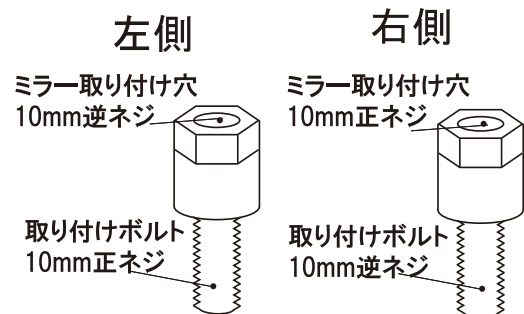
#### D タイプ



#### E タイプ



#### F タイプ



左右で異なるアダプターが装着されている



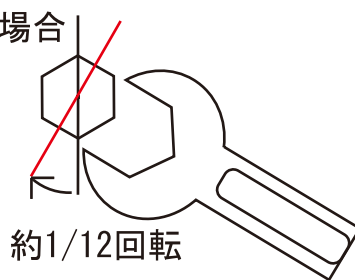
## 4. 各種注意事項

### 6) 取り付けについて

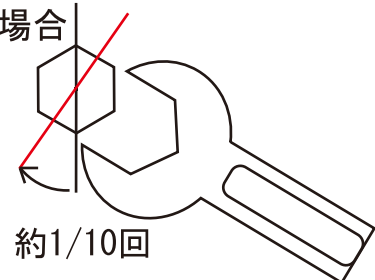
破損や事故を防止するため下記の事項をよくお読みになって安全確実な作業を行ってください。

- ・純正のミラーを外したら車両側ミラーホルダーのネジ穴に潤滑油を少量つけてください。
- ・取り付けるミラーもしくはミラーアダプターを、**まずは工具を使用せずに手で車両側にネジ込んでいきます。**
- ・ネジ込む際にミラーもしくはミラーアダプターが車両側ミラーホルダーの**ネジ穴に対して必ず垂直に入るよう**行ってください。
- ・ネジが最後まで手でスムーズに回転することを確認してください。ナポレオンミラーアダプターの場合は付属のワッシャーを必ずご使用ください。
- ・ミラーを車体に仮止めしたら乗車状態で後方視界が良好であるかを確認してください。
- ・ステーの角度を調整しロックナットを工具で固定します。**締め付けトルクは8mmは12~19[N・m]、10mmは24~39[N・m]です。**トルクレンチが無い場合は目安として手で最後まで締めた場所から8mmは約12分の1回転、10mmは10分の1回転を工具で締めてください。

8mmの場合



10mmの場合



- ・ミラーアダプターも同様に8mmは12~19[N・m]、10mmは24~39[N・m]で車両側に固定し、次にミラーアダプターにミラーを固定します。この際にミラーアダプター側を必ずレンチで固定して締め上げてください。



### 7) 絶対にお止めください…

- ・ミラー（ステー）を手で回して締め上げる。
- ・ミラーアダプターやターナーを複数組み合わせる。
- ・手でスムーズに回らないとき工具を使用して無理に締め上げる。

これらはミラーのネジ山の破損、車両側のミラー取付部の破損やミラーの脱落事故の原因となりますので絶対にお止めいただきますようお願い致します。

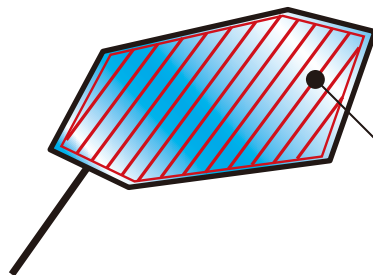


## 5. バックミラーの保安基準について

オートバイのバックミラーの保安基準が変更になり、大きさの規定が追加されました。  
純正ミラーより交換する場合は、下記の要件を全て満たす鏡面のバックミラーでないと保安基準に抵触します。交換前にご確認下さい。

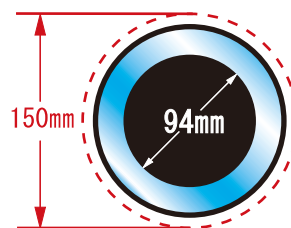
A. 平成19年1月1日以降に製造された全ての車両。  
および平成17年1月1日以降に型式を認定された全ての車両

①面積が69cm<sup>2</sup>以上あること

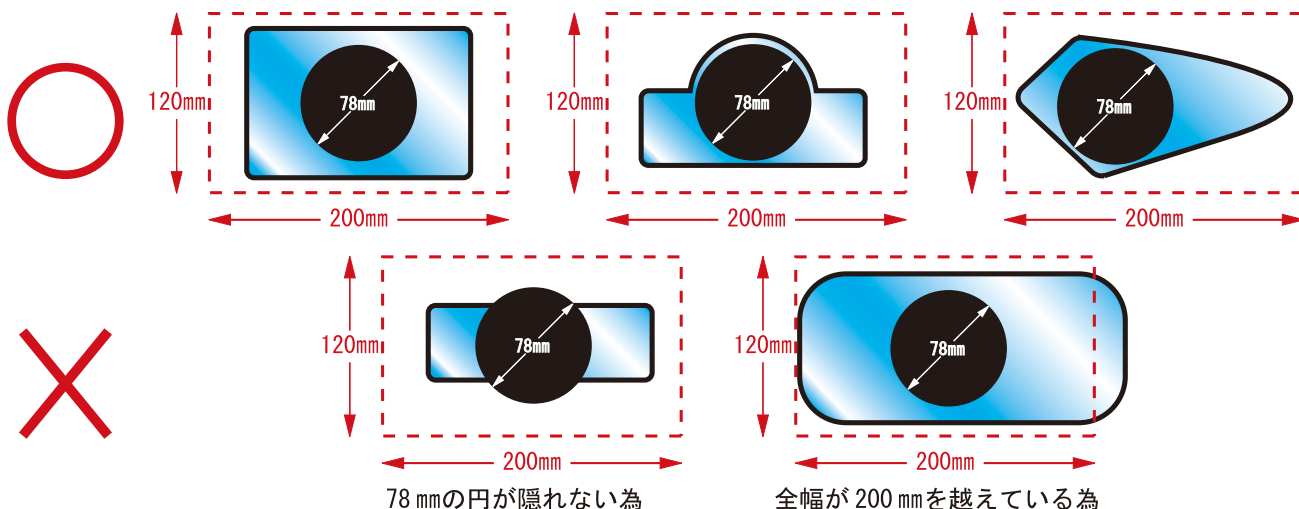


どんな形状でも面積が  
69cm<sup>2</sup>以上必要

②円形の物は、鏡面の大きさが  
直径94mm以上150mm以下であること



③円形以外（角型や楕円形など）の物は、鏡面の大きさが120×200mm  
（または200×120mm）未満で、直径78mmの円を隠すことができること



### 弊社ラインナップにて適合する大きさのミラー

- AF-10L/AF-10R
- AG-101/AG-104
- AGB-101-10/AGB-104-10
- AH-081
- AYW-8/AYW-10
- AJ-8L/AJ-8R/AJ-10L/AJ-10R
- APE-101-10/APE-104-10
- AQ-8L/AQ-8R/AQ-10L/AQ-10R
- AT-8/AT-8Y/AT-10/AT-10Y
- APO-101-10
- AU-8/AU-10 (AU-101-8とAU-101-10は適合しません)
- AUE-8/AUE-10
- AX-10L/AX-10R
- AZ II-101-10/AZ II-104-10
- AEX-R/AEX-L

2008年8月現在

#### ④鏡面の大きさ以外の規定（鏡面の映す範囲、取付条件など）

※一部抜粋

- ・ミラーが車両の左右に取り付けられていること。（一部対象外）
- ・車両の左右外側線上50mの交通状況が確認できること。（一部対象外）
- ・歩行者等に接触した場合に衝撃を緩衝できる構造であり、歩行者に傷害を与える恐れのないもの。
- ・反射面の中心が、かじ取装置の中心を通り進行方向に平行な鉛直面から280mm以上外側にあること。

など

B. 平成18年12月31日以前に製造された車両で、  
型式の認定が平成16年12月31日以前の車両

#### ①鏡面の大きさの規定はありません。

#### ②鏡面の大きさ以外の規定（鏡面の映す範囲、取付条件など）

※一部抜粋

- ・ミラーが車両の左右に取り付けられていること。（一部対象外）
- ・車両の左右外側線上50mの交通状況が確認できること。（一部対象外）
- ・歩行者等に接触した場合に衝撃を緩衝できる構造であり、歩行者に傷害を与える恐れのないもの。
- ・反射面の中心が、かじ取装置の中心を通り進行方向に平行な鉛直面から280mm以上外側にあること。 など

※昭和50年11月30日以前に製作された二輪自動車は取付条件等が異なります。

※原動機付自転車（125cc以下）の場合は車両の左外側線上50mまでの間にある  
車両の交通状況を確認できれば上記規定に適用しないでも構いません。

※この保安基準は

- ・ハンドルバー式かじ取装置を備える原動機付自転車、二輪自動車、側車付二輪自動車及び三輪自動車であって、車室の無いものに適用されます。
- ・自動車使用者が使用過程にある自動車又はその部品の改造、装置の取付け又は取外しその他これらに類する行為により構造、装置又は性能に係わる変更を行う場合に適用されます。

⇒ 一般的なオートバイのバックミラーをアフターパーツに交換する場合に適用になります。

（トライク、車室付き等の車両は基準が異なります。）

- 詳しくは
- ・道路運送車両法
  - ・道路運送車両法の保安基準（第44条、第64条の2）
  - ・道路運送車両法の保安基準の細目を定める告示（第146条、第267条）
  - ・道路運送者両法の保安基準第2章及び第3章の規定の適用関係の整理のため必要な事項を定める告示（第52条、第70条）  
をご覧ください。

